

まごころ便り Vol.2



発行人／株式会社ケアプラス
 本社／〒105-0014
 東京都港区芝3-40-4
 三田シティプラザ2階
 TEL／☎ 0120-8556-39
 HP／http://www.care-plus.co.jp

主治医も驚く回復ぶり！ 寝たきりから脱却し自立歩行が可能に。

身体機能向上のための施術開始。

施術開始時は、左右手足の他動運動と足のストレッチ及び自動介助運動を少ない回数からスタートしました。1か月弱で疼痛の減弱が見られた為、仰向けで体位変換の自動介助運動を追加。開始約1か月後に室内で転倒され、状態が悪化した為、7週経過頃には再び体位変換を追加。その後も状況に合わせて自動介助運動からご自身に運動してもらったりし、変更をきめ細かく実施してきました。歩行ができるようになるには脚の筋力だけでなく全身のバランス向上が重要である為、半年間で9回の施術内容の変更を行い、現在もご利用者にとって「何が必要で効果的か」を常に追求しながら、施術を続けております。そして32週目、室内での自立歩行が可能になりました。

状態に応じた細部への施術変更。回復を促す計画。

今回のケースは、寝たきりで運動がほとんどできない上に食欲もなく、体力や体重が著しく低下した状態のご利用者が、室内で自立歩行が可能にまで改善した事例です。初期の状況は、ご本人や介助されるご家族の体力・精神的な負担が大きくなっていました。日を追うごとに状態は良くなり、現在はデイサービスに通えるまで回復されました。状態に応じた細部への施術内容の変更と設定を通して「通常の生活を送ることへ一歩一歩確かに進んでいった過程」に焦点をあてました。



広島営業所 立畑相談員



以前できなかった座位の保持や手足の自力の運動も取り入れることができるようになりました。



初期は腰から足にかけての疼痛を減らすことが第一。施術も入念に。

〈初期目標〉

腰背部から両下肢の疼痛・痺れの減弱
 あるいは消失、食欲増進

〈中長期目標〉

四肢・体幹部の筋力向上
 日常生活動作の自立確保

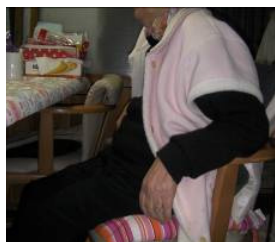
【治療内容】

施術は運動法が初期から中心となりました。手をいきなり運動させると肩関節などに損傷・炎症を起す危険がある為、肩甲骨とその周囲の筋腱の柔軟性を十分に出すことに配慮して実施しました。運動法の前のリラクゼーションやマッサージ、運動法とその後のマッサージは常に行っています。最終的な目標は自立を促すことにある為、介助しながら自動でできる運動をご本人と協力し、足りない分だけを施術師が補いつつ、徐々に補う力を減らしていくようにしました。食欲の増進については、体内細胞の活性化が図られ易くなることから経ロイオン水摂取が行われました。

懸念されていた体重も施術開始時の33キロから最大時には40キロ台まで回復し、ケアマネジャーの方も「笑顔が増えた」と喜んでおられます。今後は歩行の距離・時間の増大をはかり、生活範囲の拡大を目指していきます。

身体の回復が生み出した、 食事や外出の楽しみ。

寝たきりから室内では自立歩行、室外でもご家族が付き添いつつの杖歩行が可能になり、血液内科・整形のドクターも仰天の回復となりました。ドクターからは「背もたれなしの丸椅子でも短時間ながら問題なく座位の姿勢を保持している」とのお話も。



■食欲も回復し、ご飯が美味しく、食事を楽しめています！

痛みを減らして寝たきり脱出。 食欲も取り戻したい。

ご利用者は腰や足の疼痛・痺れに悩まされており、ご本人はまず、その減弱・消失を望まれ、ご家族からは寝たきりにならない為の体力・筋力の回復とのご要望がありました。またケアマネジャーの方は食欲が低下し水分もほとんど摂らないことを懸念され、食事が摂れるようになることも重要な課題となりました。



龍宮 施術師
 から腰部を
 痛み、寝た
 きりとなっ
 ていました。

ご利用者からのニーズ

ご利用者 T様(87歳・女性)
 傷病名：脳梗塞、左変形性膝関節症
 認知症、腰椎圧迫骨折
 初療日の半年ほど前までは、ご家族と買い物や旅行にお出かけになっていたご利用者。しかし、体調不良をきっかけに食事や水分を摂らなくなっていました。